

明治の文化

飛鳥

奈良

平安

鎌倉

室町

安土桃山

江戸

明治

大正

今日の問い

明治時代、日本の文学・美術・科学はどのように発展したのだろう。

読み終えたら、最後の「問いへの答え」を見る前に、自分の言葉で答えてみよう。

1 近代文学と美術の発展

文学・美術・音楽

げんぶんいち
言文一致

話し言葉に近い文体で文章を書くこと。

おかぐてんしん
岡倉天心

フェノロサとともに日本の美術の価値を見直した人物。

くろだせいき
黒田清輝

フランスで学び、明るい色づかいの西洋画を広めた画家。

たきれんたろう
滝廉太郎

「荒城の月」「花」などを作曲した音楽家。

文学では、話し言葉に近い^{ふたばていしめい}言文一致の文体が二葉亭四迷らによって始められ、広まった。『吾輩は猫である』の夏目漱石、『舞姫』の森鷗外が近代的な小説を発表し、樋口一葉は『たけくらべ』などの小説を書いた。正岡子規は俳句や短歌の革新に取り組んだ。

美術では、アメリカ人のフェノロサと岡倉天心が、軽く見られていた日本の伝統美術の価値を見直し、横山大観らが新しい日本画を生み出した。一方、黒田清輝はフランスで学んだ西洋画を広めた。音楽では、学校で唱歌が教えられ、滝廉太郎が「荒城の月」などを作曲した。

分野	おもな人物
文学	なつめそうせき もりおうがい ひぐちいちよう まさおかしき 夏目漱石・森鷗外・樋口一葉・正岡子規
美術	おかぐてんしん よこやまたいかん くろだせいき 岡倉天心・横山大観・黒田清輝
科学	きたざとしはさぶろう しがきよし のぐちひでよ 北里柴三郎・志賀潔・野口英世

2 科学の発展と学校教育

科学・教育

きたざとしはさぶろう
北里柴三郎

破傷風の血清療法を開発し、ペスト菌も発見した細菌学者。

しがきよし
志賀潔

赤痢菌を発見した細菌学者。

のぐちひでよ
野口英世

黄熱病の研究を進めた細菌学者。

ぎむきょういく
義務教育

子どもに受けさせることが国民の義務とされた教育。

科学では、欧米で学んだ研究者が世界的な成果をあげた。細菌学者の北里柴三郎は破傷風の血清療法を開発し、ペスト菌も発見した。志賀潔は赤痢菌を発見し、野口英世は黄熱病の研究を進めた。物理学では長岡半太郎が原子のしくみについて新しい考えを発表した。

教育では、学制のあと小学校が各地に広まり、1900年に授業料が原則として無料になると、就学率は大きく上がった。1907年には義務教育が6年に延びた。就学率は明治の終わりに100%近くになり、多くの国民が読み書きや計算を身につけた。

初めは低かった女子の就学率も上がり、津田梅子が女子英学塾を開くなど、女子の教育も広がった。

問いへの答え

明治時代には、言文一致の文体による近代文学が生まれ、夏目漱石や森鷗外らが活躍した。美術では岡倉天心とフェノロサが日本の伝統美術を見直し、黒田清輝が西洋画を広め、音楽では滝廉太郎が活躍した。科学では北里柴三郎や野口英世らが世界的な研究をし、義務教育の広まりで就学率も大きく上がった。

次は ノート で、下線に語句を書きながら確かめよう →

